第11回みえこどもLINK勉強会　感想の一部

- 車椅子で学級に復帰するこどものお話の中で、クラスの思いやりを育むために1人のこどもを犠牲にしていいのかという先生自身の気付きにハッとさせられました。私もこれまで優しくすることを最優先にしていたので、相手の気持ちを考えることが大切だと分かりました。また専門性を身に付けるために、一年生のうちから一生懸命考えたいと思いました。

- 子どもの感情をどう受け止めるか、どんな感情であってもその背景には「ねがい」があるということ。そして、専門性を持つ為に学び続けること。とても心に残りました。

- 学ぶことは生きること
  ご褒美は罰ゲームになるかもしれないという言葉
  心にひびきました。
  つらいときに、気づいてそばにいてあげられる看護師になりたいと思いました。

- 心にいつも留めておきたい言葉が知れました。これでいいのかと迷いながら仕事をしていますが、これでもいいんだと、心のエネルギーをいただきました。自分も大切にしながら、相手も大切にしていきます。

- 子どものこころの声を聴くことはとても難しいと思っていました。子供達も言葉で上手く伝えるのは、苦手なのですね。こちらが、まず寄り添って理解しようとしなければいけないのですね。「受容するけど許容しない」の言葉がすごくこころに残りました。そして、受容することからしなければならないことも大事だということも。それから、感情の言語化を手伝うことが必要だということも知ることができてとても良かったです。ありがとうございました。